



## プレスリリース(参考訳)

2011年9月28日、パリ

### クレディ・アグリコル: 新たな環境に適応

#### **経営環境の変化 流動性強化への取り組みは既に成果を実現**

短期負債は2011年6月30日現在1,700億ユーロ、2011年9月14日現在は1,450億ユーロ  
MMFからの調達削減に機動的に対応  
中・長期リファイナンスの安定確保

#### **新しい環境へ適応した目標設定**

2011年6月から2012年12月の間に、500億ユーロの負債の戦略的削減  
2011年の220億ユーロに対し、2012年には120億ユーロの中・長期資金の調達

#### **当社のアクション・プラン**

法人及び投資銀行: 貸出限度額を150億-180億ユーロ削減  
専門金融サービス: 貸出限度額を90億から110億ユーロ削減  
フランス及び国際リテール・バンキング: 貸出限度額を210億から230億ユーロ削減

#### **流動性準備金**

利用可能準備金は1,100億ユーロ以上  
証券化可能な高信用度の資産の大規模な基盤  
ユーロ圏周辺諸国へのエクスポートは限定的且つ対処可能  
**当社の利点: 回復力のあるビジネス・モデルとクレディ・アグリコル・グループの強み**

## 経営環境の変化

銀行セクターは、ここ数ヶ月間流動性に対する圧力を受けています。長期資金へのアクセスは限定的であり、短期資金は、とりわけドル建資金において減少しています。プルーデンス上の要件は厳格化され、銀行はレバレッジを削減し、バランス・シートを強化することが必要となっています。

クレディ・アグリコルは、こうした新たな経営環境に対し、適確な対応を行っています。

## リファイナンスへの取り組みは既に高い成果を実現

通貨、投資家、財務拠点(25カ国以上)といった面で、当社のリファイナンス・モデルは堅固であり、分散も効いています。これにより、2011年夏、クレディ・アグリコル・グループはドルによる流動性の減少に対応することができました。ドル建てによる短期資金の負債の比率は、2011年6月30日現在の44%から、2011年9月14日現在の27%に低下しました。米国で資金調達した米ドル建ての負債の比率は37%から14%に減少しました。一方で、アジア及び中東地域での資金部門の寄与率は増加しています。

その結果、当グループは、短期負債を2011年6月30日現在の1,700億ユーロから2011年9月14日現在の1,450億ユーロに削減することができました。MMFからの流出には機動的に対応しています。米国MMFは、現在資金調達残高のうち僅か60億ユーロとなっています。米国連邦準備銀行へのオーバー・ナイト預金は80億米ドルであり、米ドルのキャッシュ・ポジションは常にプラスとなっています。

当グループの中長期資金のリファイナンスは安定して行われています。2011年のMTNプログラム(220億ユーロ)は、100%調達完了しています。50億ユーロのリテール・バンキングのプログラムは83%完了し、9月には6億ユーロの投資があり、スケジュールよりも早く進んでいます。

全体では、264億ユーロの資金調達が実現され、平均償還年限は6.6年、6ヶ月スワップ・金利+平均84bpの上乗せ幅と、競争力のあるスプレッドとなっています。

## 新しい環境への適応目標

クレディ・アグリコルは、2011年6月から2012年12月の間に、500億ユーロの負債の戦略的削減を予定しています。それには、短期負債 450 億ユーロの削減(-26%)も含まれています。また、当グループは、MTNプログラムによる中・長期資金のリファイナンスの年間資金計画も、2011年 220 億ユーロから2012年の 120 億ユーロへ(-45%)削減する予定です。

## 当社のアクション・プラン

当グループは、資金調達のニーズを軽減するために、様々な事業部門において多くの措置を講じる予定です。

- 法人及び投資銀行部門では、幾つかの事業を再検討の上段階的に非継続化し、ストラクチャード・ファイナンス、商業銀行部門、資本市場部門の事業を計画的に縮小し、非戦略的な海外の事

### Press relations

Crédit Agricole S.A.

Anne-Sophie Gentil ☎ +33 (0)1 43 23 37 51

M: Communication

Louise Tingström ☎ +44 (0) 789 906 6995

業部門の閉鎖等を通じて、現在継続中のファイナンスのニーズを150億から180億ユーロ削減します。本年末までに先ず90億ユーロの削減が完了します。また非継続事業からより迅速に撤退し、大きなリターンを生み出し、最高度のクロス・セリング・レートを発揮する事業分野の成長に経営資源を集中することにより、中期戦略である「コミットメント2014」を着実に実施していきます。

- CIBはクレディ・アグリコル・グループの事業収益の15%を占めています。2007年以来、2008-2010年の事業再編計画を通してリファイナンス必要額は既に600億ユーロ減少しました。
- 専門金融サービス部門では、ファイナンスのニーズは90億ユーロから110億ユーロ削減される予定です。この削減は、ローン・ポートフォリオの売却、幾つかの事業からの撤退、当グループがリテール・バンキングのオペレーションを持たない特定の国々で他の資金調達ソースが増加したことによって、全般的にリファイナンスのニーズが軽減されたことなどによるものです。
- 当グループは、フランス国内及び国際リテール・バンキング部門を重視したビジネス展開を行います。これらの事業部門に管理配分される資本は、70%から75%に増加するでしょう。リテール・バンキングにおいて必要なファイナンスの削減金額は210億ユーロから230億ユーロになる予定です。当グループは、預金残高が3,700億ユーロであり、この数字は常に増加しています。オフ・バランス・シート上の預金残高は3,240億ユーロで、この伸びはオン・バランス・シート上の預金残高に移行していく可能性があります。

## 流動性準備金

クレディ・アグリコル・グループは、流動性に関して1,100億ユーロ以上の利用可能な流動性準備金を保有しており、更に増額させることを目標としています。当グループは、証券化可能な信用度の高い資産を多く管理保有しています。

## ユーロ圏周辺諸国へのエクスポートは限定的であり、対処可能

当グループの銀行業務部門において、ユーロ圏周辺諸国(ギリシャ、アイルランド、ポルトガル、スペイン、イタリア)へのエクスポート(純額)は、全資産の0.7%に相当します。諸外国からの経済支援を受けた欧州諸国(ギリシャ、アイルランド、ポルトガル)への当グループの保険業務のエクスポート(純額)は、全資産の0.07%に相当します。

プレディカ(生命保険部門)は多額の利用可能な準備金を保有しており、2011年6月30日現在の含み益は16億ユーロとなっています。2011年6月30日現在のプレディカの主な準備金は、契約者準備金(provisions for policyholders' participation) の42億ユーロからなります。更に、非ソブリン債ポートフォリオの97%は、投資適格性を満たしています。

エンポリキに対する対応策は強化されてきました。それらの施策としては、他の預金商品を提供することによりエンポリキの資金調達源を多様化すること、定期預金者に対しより高い利率を提供すること、

### Press relations

Crédit Agricole S.A.

Anne-Sophie Gentil ☎ +33 (0)1 43 23 37 51

**M: Communication**

Louise Tingström ☎ +44 (0) 789 906 6995

欧州中央銀行のファシリティーを利用すること(7月には5億ユーロで、9月末までに8億ユーロに増加予定)などがあります。また、営業総利益を増加させ、リスク関連費用を削減する努力(費用削減、ローン資産回収への取り組み強化、新規貸出しの厳格基準の維持など)も実行されています。

### 当社の有利性:回復力のあるビジネス・モデルとクレディ・アグリコル・グループの強み

こうした新たな経営環境において、クレディ・アグリコル・グループでは、実体経済を支えているリテール・バンキングのフル・サービスが確固たる収益基盤となっており、また有機的成長を促し、グループ内のシナジーを創出するための戦略を持つことから、新環境に適応していく確固たる自信を持っています。

クレディ・アグリコルは、クレディ・アグリコルS.A.と地域銀行の間の双務的コミットメント及び相互保証によって、構造的に安定しています。変換メカニズムはグループ内の結束力の新たな表明であり、クレディ・アグリコルS.A.のリスクウェイト資産500億ユーロは今年度末までに地域銀行に移管される予定です。

クレディ・アグリコルS.A.は、欧州で最も安定した、高格付けを有する銀行グループの一つです。

その強みは、ソルベンシー・レシオが常に改善されていること、コア・ティア1・レシオが9.1%、ティア1・レシオが10.5%(クレディ・アグリコル・グループ)であることなどからも明確です。クレディ・アグリコルS.A.の資本目標は、2013年までに普通株式ティア1・レシオ9%を達成することです。

#### DISCLAIMER

This press release may include prospective information on the Group, supplied as information on trends. This data does not represent forecasts within the meaning of European Regulation 809/2004 of 29 April 2004 (chapter 1, article 2, §10).

This information was developed from scenarios based on a number of economic assumptions for a given competitive and regulatory environment.

Therefore, these assumptions are by nature subject to random factors that could cause actual results to differ from projections.

Likewise, financial information is based on estimates, particularly in calculating market value and asset impairment.

Readers must take all these risk factors and uncertainties into consideration before making their own judgement.

The figures presented in this document were not reviewed by auditors

#### Press relations

Crédit Agricole S.A.

Anne-Sophie Gentil ☎ +33 (0)1 43 23 37 51

**M: Communication**

Louise Tingström ☎ +44 (0) 789 906 6995